

原子力施設の運転状況

試験研究用原子炉と研究開発段階の原子炉

試験研究用原子炉の事故・故障・トラブル統計

昭和61年度試験研究用原子炉における事故・故障

<概要>

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」の規定に基づき、昭和61年度に報告がなされた事故・故障の件数は1件であった。この上記1件は、原子炉停止中に発生したもので、事故・故障等の管理要素別に分類すると、施工管理が不適切なものに分類される。

<更新年月>

1999年08月 （本データは原則として更新対象外とします。）

<本文>

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」（以下、「[原子炉等規制法](#)」という。）の規定に基づき、昭和61年度に報告がなされた事故・故障の件数は1件であった。この上記1件は、原子炉停止中に発生したもので、事故・故障等の管理要素別に分類すると、施工管理が不適切なものに分類される。

なお、上記の事故・故障等による原子炉施設の周辺環境への放射能の影響はなかった。このほか、軽微な故障等（昭和56年9月1日付け科学技術庁（現文部科学省）長官通達）に基づく報告は0件であった。

昭和61年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における故障・トラブル等についての概要を [表1](#) に示す。

（原子炉等規制法に基づく報告）

<関連タイトル>

[原子力施設の故障・トラブル・事故の国際評価尺度 \(11-01-04-01\)](#)

[昭和62年度試験研究用原子炉における事故・故障 \(12-03-01-08\)](#)

<参考文献>

（1）原子力安全委員会編（1987）：昭和62年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における事故・故障等の概要（原子炉等規制法に基づき報告があったもの）、昭和62年版原子力安全白書、297。

（2）科学技術庁原子力安全局編（1987）：昭和61年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における事故・故障等について、原子力安全委員会月報6月号、通巻105号、54。

表 1 昭和61年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある
原子炉施設における故障・トラブル等についての概要

発生年月日	原子炉施設名	故 障 ・ ト ラ ブ ル 等 の 概 要
61. 6.25	原研東海研究所 JRR-2	第4サイクル運転準備のため、弁の開閉動作の点検中、一次冷却系の炉心タンク入口弁ダイヤフラムの損傷により、重水ポンプ室において重水が漏洩した。

[出典]原子力安全委員会編（1987）：昭和62年度の試験研究用原子炉施設及び研究開発段階にある原子炉施設における事故・故障等の概要（原子炉等規制法に基づき報告があったもの）、昭和62年版原子力安全白書、297.